

# 令和4年度 瀬谷地区センター事業計画書

## 1 施設設置目的を踏まえた管理運営計画

地域住民の自主的活動や相互交流の促進のため、区や地域各種団体と連携を図りながら、次に示す基本方針に基づき、地域に密着した運営に努めます。運営にあたっては、地区センターと老人福祉センターの複合館としての特徴を生かしつつSDGsを意識して取り組むとともに「幸せが実感できる瀬谷づくり」の目標に向け、スタッフ全員が「チーム」となって、誰でもが利用しやすい施設となるように、「挨拶・声かけ」、「親身な対応」、「わかりやすい説明」を行い、利用者満足度の向上を図ります。

- ① 集う：地域の団体その他への日々の活動拠点の提供
- ② つながる：区民ニーズを反映した自主事業の実施と事後グループの支援、施設運営
- ③ 区との協働：瀬谷区との協働「子ども・青少年の育成」「健康増進・福祉の充実」「安全・安心のまちづくり」「魅力の創出・区民協働の推進」

## 2 地域特性、地域ニーズを踏まえた管理運営計画

瀬谷センターは、瀬谷区のほぼ中心に位置し、また交通の便の良さから、コロナ休館や利用制限期を除き例年利用者は22万人を超え、瀬谷区的主要行事の活動拠点となっています。また、高齢者の利用が50%を超えるなど、センターの特徴を踏まえ、利用者、地域の方々のニーズに的確に応え、区の基本方針を反映し「集う、つながる、瀬谷センター」をモットーに施設の運営を進めます。

## 3 施設の安全性、安定的な維持管理計画

館長、副館長、スタッフを配置し、全ての時間帯において責任者を含めて4名以上が勤務し、館の円滑運営に努めます。運営にあたっては「正確・丁寧・公平・迅速」に、利用者の視点に立った、より質の高いサービスを提供します。

また、気持ちよく活動・交流できる施設を目指し、6つの基本方針を踏まえるとともに、常駐の施設維持管理職員を雇用し、「安全」「安心」「快適」な空間への取組を行うことで、築40年以上経過し老朽化する建物、設備の適切な維持、管理に努めます。

個人情報保護等について4つの規程、4つのルールとヒヤリハット事例の共有、定期的な点検指導、さらに研修を実施し、法及び条例の趣旨の周知と日々の事務における徹底を図ります。

緊急時対応については、6つのマニュアルと地域その他との連携により、日頃から防犯・防災その他の緊急時対応には万全を期するとともに、全スタッフや利用者にも参加していただく防災訓練を実施します。

## 4 利用者ニーズの把握、サービスの向上計画、利用促進計画

利用者サービス第一を念頭に、把握した利用者ニーズや地域ニーズを実現させるために、柔軟な発想で迅速な対応と運営に反映することに努めます。

利用者ニーズの把握

- ① 地区センター委員会、利用者会議
- ② 利用者アンケート、自主事業後アンケート、区民意識調査
- ③ 地域住民、利用者との直接対話
- ④ 区と四半期ごとのモニタリング
- ⑤ 他地区センター、老人福祉センター所長会、協会連絡会
- ⑥ ホームページのお問い合わせフォーム、施設常設のご意見箱

「また来たい瀬谷センター」と思われるよう、職員・スタッフが一丸となって取り組んでいきます。

- ① 気持ち良く利用できるように、クリーンタイムの設定や各部屋の使用前後の点検、清掃を徹底します。
- ② コロナ対策ため、入館時の検温、手指消毒、マスク着用、換気を徹底し、感染防止に努めています。

- ③ 図書コーナーに除菌ボックスを設置し、貸出、返却時には本の除菌を実施しています。
- ④ インターネット予約システムの導入で、パソコンやスマートフォンで抽選申込や空き部屋の予約が可能となり、利便性が大きく向上しています。また、大型の館内表示（デジタルサイネージ）を1階・2階に設置。当日と3か月分の予約状況の確認できます。
- ⑤ ウェブアクセシビリティAAに準拠したホームページを構築。ウェブサイトを利用するすべての人が利用しやすく、必要な情報を得ることができるようになりました。
- ⑥ 施設情報は、ホームページ、センターだより、施設内外の掲示板にタイムリーに発信します。
- ⑦ 幼児ルームには環境にやさしく安全に配慮した、木製大型キッチンセットを用意しています。
- ⑧ 地域の福祉団体と連携し、障害のある方が作った製品の販売による就労支援と飲食その他物販による利用者サービスの向上を図ります。

地域住民の自主的な活動をきっかけに、地域コミュニティの醸成、地域連帯意識の形成で、次の取組を通じて、利用促進を図ります。

- ① 団体の活性化
- ② リピーターを増やす
- ③ 共同企画
- ④ 地域の交流を通して
- ⑤ 新たな取組

## 5 自主事業計画

利用者ニーズを的確に把握し、年齢、性別に偏らず幅広い層の利用者が興味、関心を持って参加できる魅力ある事業を推進します。また、区の目標達成に向けた4つの施策とSDGsを推進します。

- ・利用者アンケートなどで参加希望や関心が高い「体操、学習、趣味、料理、防災、防犯」の幅広いジャンルの事業を計画しています。また、利用者との日常対話を大切にして、そこから生まれるニーズを捉え事業の企画に反映していきます。
- ・講師はできる限り地域の方に依頼し、技術を持つ当施設のスタッフによる事業も開催します。
- ・区の施設、地域の団体とも連携して講座の企画を実施、新たな講師の登用につなげています。
- ・自主事業の参加費は適正に算出し、参加しやすい料金設定にしています。特にワンパク事業での参加費は、子どもたちが参加しやすいように300円以下に設定しています。
- ・ロビーコンサートを開催し、施設に足を運んでいただくことで、新しい利用者の開拓を図ります。
- ・複合館としての利点を生かし、子どもから高齢者までの異世代交流を推進する事業を実施します。
- ・市内高校生がボランティア活動として事業に参加し、地域連携や人材育成にも繋げていきます。
- ・夏休みは空いている部屋を小中学生の自主学習の場として開放します。
- ・講座の申込がホームページからインターネットでできるように準備を進めます。

## 6 新型コロナウイルス感染症予防対策

入館時に自動検温器で検温、アルコール自動噴霧器で手指の消毒、飛沫防止のためマスク着用の励行、マスク未着用者への声かけとマスクの無料配付を行います。

囲碁、将棋、麻雀の利用は対面になるため、フェイスシールドの着用を徹底します。

各階にアルコール自動噴霧器と加湿器を設置し、窓開け換気も行い、常に館内の環境を整えます。

部屋利用は20分前の退出に御協力いただき、スタッフが机や椅子、ドアノブ、スイッチなどの消毒と換気を行います。その他の共有スペースや体育館は、クリーンタイムの時間を設けて、消毒、換気及びCO<sub>2</sub>の濃度測定を定期的に行います。

自主事業やロビーコンサート等の開催は事前申込制とし、参加者を確定して実施します。

令和4年度 瀬谷地区センター自主事業計画書（案）

No	教室名	対象者	募集人数	開催期間	回数	予算（円）
1	リンパを流してストレッチ	成人	45	4月～9月	10	80,000
2	ボクシングdeエクササイズ	成人	45	4月～9月	10	80,000
3	ピラティス	成人	10	5月～7月	5	30,000
4	アロマテラピー講座	成人	14	5月～7月	3	24,000
5	～文化にふれる～はじめての韓国語	成人	12	5月～7月	7	56,000
6	気軽に描く色鉛筆画	成人	12	6月～8月	5	30,000
7	美しいハーモニーを感じる コーラス	成人	16	7月～8月	5	30,000
8	～パッチワーク～ 小物づくり	成人	12	7月～9月	5	30,000
9	プラネタリウムで星の観察 ～流れ星のふしぎ～	小学生以上	16	8月	1	8,000
10	インターネット被害 未然防止講座	中学生以上	15	8月	1	0
11	防災食をおいしくクッキング	成人	12	9月	1	6,000
12	和布クラフト 干支うさぎ	成人	12	9月～10月	5	30,000
13	ボタニカル刺繍の小物づくり	成人	20	9月～10月	5	30,000
14	世界遺産に学ぶ世界の歴史	成人	20	9月～11月	6	36,000
15	プラネタリウムで星の観察 ～月食のふしぎ～	小学生以上	16	10月	1	8,000
16	伸ばしてスッキリ 肩・腰・ひざのストレッチ	成人	45	10月～2月	9	72,000
17	エクササイズ	成人	45	10月～2月	9	72,000
18	古典講座 百人一首	成人	20	10月～12月	6	48,000
19	美文字講座 カレンダー作り	成人	14	11月～12月	5	30,000
20	クリスマスリース	成人	14	11月	1	8,000
21	クリスマスケーキ	成人	12	12月	1	6,000
22	老後に必要なお金のはなし	成人	16	12月	1	0
23	かぎ針で編む 簡単かわいいバッグ	成人	10	1月～2月	5	30,000
24	マクロビ料理	成人	12	2月	1	6,000
25	地区センター・和楽荘共催 笠原先生と行く鎌倉散歩	成人	10	5月	1	6000
26	地区センター・ワンパク・和楽荘 瀬谷の街歩き・和泉川散策と生き物観察	どなたでも	15	5月	1	6000
27	地区センター・ワンパク・和楽荘 さわやかスポーツ体験！ペタンク	どなたでも	20	8月	1	8000
合 計					111	770,000

令和4年度 瀬谷地区センター ワンパク自主事業計画 (案)

No	教室名	対象者	募集人数	開催期間	回数	予算(円)
1	すきっぷす♪のおはなし会	乳幼児と保護者	14組	5月～3月	8	32,000
2	日本の伝統文化を楽しむ① ～初めての茶道～和のマナー	小・中学生	10	5月	1	10,000
3	はじめの一步 英語で遊ぼう！	小学校低学年	10	5月～6月	3	20,000
4	すきっぷす♪の親子 de リトミック	幼児と保護者	7組	5月～6月	3	19,000
5	小中学生卓球教室	小・中学生	25	6月～2月	4	40,000
6	日本の伝統文化を楽しむ② 囲碁～楽しく学ぼう～	小・中学生	8	6月	2	14,000
7	すきっぷす♪の家族 de リトミック	幼児を含む家族	5組	7月	1	7,000
8	瀬谷サイエンスクラブ～SDGsを身近に～	小学生	10	8月	1	13,000
9	絵画教室	小学生	8	8月	1	7,000
10	【共催】ダイドー ペーパークラフト 本物そっくり自動販売機を作ろう！	小学生	10組	8月	1	1,000
11	ヒップホップを踊ろう	幼児・小学生・ 保護者も可	10	10月～11月	4	34,000
12	はじめの一步 KIDS フラダンス	小・中学生	10	10月～11月	4	35,000
13	日本の伝統文化を楽しむ③ 遊心～生花でお花を活けてみよう～	5歳～小中学生	10	12月	1	12,000
14	お菓子づくり ～クリスマスケーキを作ろう～	小・中学生	12	12月	1	12,000
15	日本の伝統文化を楽しむ④ ～書道～名前を書こう	小・中学生	8	1月	1	8,000
16	瀬谷サイエンスクラブ～冬～	小学生	10	1月	1	13,000
17	【共催】地区センター・ワンパク・和楽荘 瀬谷の街歩き・和泉川散策と生き物観察	どなたでも	15	5月	1	1,000
18	【共催】地区センター・ワンパク・和楽荘 瀬谷の街歩き・和泉川散策と生き物観察	どなたでも	20	5月	1	1,000
19	小中学生夏休み学習室開放	小中学生		7月～8月		1,000
合 計					39	280,000

令和4年度 瀬谷地区センター自主事業(共通)計画(案)

	教室名	対象者	募集人数	開催期間	回数	
1	来館1000万人達成記念コンサート	どなたでも	100	5月	1	60,000
2	瀬谷センターまつり	どなたでも	自由参加	11月	1	500,000
3	クリスマスコンサート&クリスマスおはなし会	どなたでも	100	12月	1	100,000
4	スプリングコンサート	どなたでも	30	3月	1	20,000
合 計					4	680,000

令和4年度 「横浜市瀬谷地区センター」 収支予算書兼決算書  
(令和4.4.1～令和5.3.31)

収入の部							(税込、単位：円)
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
指定管理料	65,677,000		65,677,000		65,677,000	横浜市より	
利用料金収入	3,100,000		3,100,000		3,100,000		
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	395,000		395,000		395,000		
自主事業収入	0		0		0		
雑入	956,000	0	956,000	0	956,000		
印刷代	320,000		320,000		320,000		
自動販売機手数料	620,000		620,000		620,000		
駐車場利用料収入	0		0		0		
その他（カラオケ使用料・預金利息等）	16,000		16,000		16,000		
収入合計	70,128,000	0	70,128,000	0	70,128,000		
支出の部							
科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明	
人件費	35,223,000	0	35,223,000	0	35,223,000		
給与・賃金	32,266,000		32,266,000		32,266,000	館長・副館長・嘱託職員及び時給職員	
社会保険料	2,337,000		2,337,000		2,337,000		
通勤手当	323,000		323,000		323,000	常勤職員・嘱託職員	
健康診断費及びインフルエンザ予防接種補	93,000		93,000		93,000	常勤職員・時給職員	
勤労者福祉共済掛金	24,000		24,000		24,000		
中小企業退職金共済掛金	180,000		180,000		180,000		
事務費	2,936,000	0	2,936,000	0	2,936,000		
旅費	38,000		38,000		38,000	出張旅費	
消耗品費	911,000		911,000		911,000	事務消耗品費	
会議ठीい費及び諸費	28,000		28,000		28,000		
印刷製本費	0		0		0		
通信費	233,000		233,000		233,000	電話代・郵送料等	
使用料及び賃借料	501,000	0	501,000	0	501,000		
横浜市への支払分	82,000		82,000		82,000	目的外使用料等（セナ-81,840 老福21,120）	
その他	419,000		419,000		419,000		
備品購入費	160,000		160,000		160,000		
図書購入費	640,000		640,000		640,000		
施設賠償責任保険	46,000		46,000		46,000		
職員等研修費	12,000		12,000		12,000		
振込手数料	17,000		17,000		17,000		
リース料	350,000		350,000		350,000		
手数料	0		0		0		
地域協力費	0		0		0	地域イベントの協力費等	
事業費	1,445,000	0	1,445,000	0	1,445,000		
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	1,445,000		1,445,000		1,445,000		
自主事業費	0		0		0	イベントの実施	
管理費	13,526,000	0	13,526,000	0	13,526,000		
光熱水費	5,296,000	0	5,296,000	0	5,296,000		
電気料金	2,880,000		2,880,000		2,880,000		
ガス料金	1,280,000		1,280,000		1,280,000		
水道料金	1,136,000		1,136,000		1,136,000		
清掃費	3,150,000		3,150,000		3,150,000	日常・定期清掃費	
修繕費	1,600,000		1,600,000		1,600,000		
機械嘗備費	262,000		262,000		262,000		
設備保全費	3,218,000	0	3,218,000	0	3,218,000		
空調衛生設備保守	1,586,000		1,586,000		1,586,000		
消防設備保守	172,000		172,000		172,000		
電気設備保守	598,000		598,000		598,000		
害虫駆除清掃保守	95,000		95,000		95,000		
駐車場設備保全費	0		0		0		
その他保全費	767,000		767,000		767,000	植栽管理・給水設備・ルート回収・ピアノ調律等	
共益費	0		0		0		
公租公課	5,203,000	0	5,203,000	0	5,203,000		
事業所税	0		0		0		
消費税	5,203,000		5,203,000		5,203,000		
印紙税	0		0		0		
その他（法人税）	0		0		0		
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	10,662,000	0	10,662,000	0	10,662,000		
本部分	10,662,000		10,662,000		10,662,000	労務・経理等の本部事務経費	
当該施設分	0		0		0		
ニーズ対応費	1,133,000		1,133,000	0	1,133,000		
支出合計	70,128,000	0	70,128,000	0	70,128,000		
差引	0	0	0	0	0		
自主事業費収入				0			
自主事業費支出				0			
自主事業収支				0			
管理許可・目的外使用許可収入				0			
管理許可・目的外使用許可支出				0			
管理許可・目的外使用許可収支				0			

目標設定 の 視 点	あ	い	う	今後の取組 (改善計画)	第 34 条第2項 第 43 条第4項	自己 評価
	計画内容及び運営目標 第 34 条第1項・第2項 第 43 条第1項・第4項	計画内容及び運営目標 に対する実績				
	事業計画書 (2) ウ 公の施設としての管理					第 43 条第1項
	・利用者に公平な利用機会を提供するため、誰もが・いつでも・どこからでも予約できる WEB 予約システムを適正管理します ・法律・関係条例・仕様書他コンプライアンスの順守及び「正確・丁寧・公平・迅速」な執行。地域からの信頼に応え、利用者一人ひとりに寄り添った地域とともに歩む瀬谷センターを目指します。					
	(4) エ 利用者ニーズの把握と運営への反映					
	・利用者ニーズは、利用者サービス第一を念頭に、6つの方法で把握した利用者ニーズや地域ニーズを実現させるために、柔軟な発想で迅速な対応と運営の反映に努めていきます。					
利用者 サービス	(4) オ 利用者サービス向上の取組					
	利用者サービスを基本姿勢として「また来たい瀬谷センター」と思われるよう、職員・スタッフが一丸となって取り組んでいきます。 ・気持ち良く利用できるように、クリーンタイムの設定や各部屋の使用前後の点検・清掃を徹底します。 ・コロナ対策ため、入館時の検温・手指消毒・マスク着用・換気を徹底し、感染防止に努めます。 ・図書コーナーに除菌ボックスを設置し、貸出・返却時には本の除菌を実施します。 ・インターネット予約システムの導入で、パソコンやスマートフォンで抽選申込や空き部屋の予約が可能となり、利便性が大きく向上しています。また、大型の館内表示（デジタルサイネージ）予約状況の確認ができるように					

	<p>なりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェブアクセシビリティA Aに準拠したホームページを構築。ウェブサイトを利用するすべての人が利用しやすく必要な情報を得ることができるようになりました。</li> <li>・施設情報は、ホームページ、センターだより、施設内外の掲示板にタイムリーに発信します。</li> <li>・幼児ルームには環境にやさしく安全に配慮した木製大型キッチンセットを用意しています。</li> <li>・地域の福祉団体と連携し、障がいのある方が作った製品の販売による就労支援と、飲食その他物販によるサービス向上を図ります。</li> </ul>			
業務運営	<p><b>事業計画書</b></p> <p><b>(4) ア 設置理念を実現する運営内容</b></p>			
	<p>地域住民の自主的な活動をきっかけに、地域コミュニティの醸成、地域連帯意識の形成を図ります。</p> <p>「集う、つながる、瀬谷センター」をモットーに、地域の団体その他への日々の活動拠点の提供、区民ニーズを反映した自主事業の実施と事後グループ支援、センターまつりなどの各種イベントを通して、地域の交流の場を提供します。また、健康づくり体操や健全な青少年育成のための講座など、区の重点施策に関する自主事業を積極的に展開し、区との協力体制を築いていきます。</p>			
	<p><b>(4) イ 利用促進策</b></p> <p>センター委員会や利用者会議等で意見を踏まえ、利用しやすい施設運営を目指します。利用促進にあたっては次の5項目を実践します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 団体活動の活性化</li> <li>② リピーターを増やす</li> <li>③ 共同企画</li> <li>④ 地域の交流を通して</li> <li>⑤ 新たな取組</li> </ol> <p>上記項目の実施により、令和3年度見込の15%増の116,000人の来館者を目標とします。</p>			

	<p><b>(4) キ 本市重要施策に対する取組</b></p> <p>公の施設の管理運営は政策目標を達成するための手法の一つとされており、横浜市中期計画の基本姿勢「SDGsの視点を踏まえた取組」「地域コミュニティの視点に立った課題解決」などを指定管理者として意識して施設の運営に取り組みます。</p> <p><b>【情報公開】</b> 市民の知る権利の確保と施設の管理運営に関し、市民に説明する責務と市民の的確な理解と批判の下、公正・公平に資することを目的とする、「瀬谷地区センター及び瀬谷和楽荘情報公開に関する規程」に基づき適切に対応します。</p> <p><b>【人権尊重】【障害者福祉政策】</b> 人権の尊重を施設運営の基本とし、利用される方々の立場を理解するとともに「一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」の実現を目指して互いに補い合い、助け合って、センター全体が「チーム瀬谷センター」として取り組みます。</p> <p><b>【環境への配慮】</b> ・省エネ・エコへの取組：1日3回の温度等測定、巡回による光熱水費の削減、不具合個所の早期発見 ・3R行動の実践：廃棄物の減量化、資源化、適正処理 ・マイカー利用自粛への取組：情報提供媒体活用、申請書類等の活用による啓発</p> <p><b>【市内中小企業優先発注】</b> 市内経済の発展及び市民生活向上に寄与することを目的に、運営に係る各種委託等の発注は市内中小企業を優先し、市内中小企業を応援します。</p> <p><b>【その他重要施策課題】</b> ・「横浜市民読書活動推進計画」 瀬谷区読書活動推進、瀬谷区読書スタンプ事業 読み聞かせボランティア等活動支援 阿久和地区センター・4コミスク・瀬谷センターによる読書スタンプラリーの実施</p>			
--	---	--	--	--



	<p><b>(5) 自主事業計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のニーズを的確に把握して、年齢・性別に偏らず幅広い層の利用者が興味・関心を持って参加できる魅力ある事業を展開します。</li> <li>・自主グループの創設を支援、地域の相互交流の場を提供し、利用の促進を図っていきます。</li> <li>・地域子どもたちのための事業として趣向を凝らし、幼児・小中学生を対象に「ワンパク」事業を実施し、青少年の健全な育成に寄与します。</li> <li>・利用者アンケートや区民意識調査からニーズを捉え、参加希望や関心が高い「体操、学習、趣味、料理、防災、防犯」の幅広いジャンルの事業を計画しています。また、利用者との日常対話を大切にして、そこから生まれるニーズを捉え事業の企画に反映していきます。</li> <li>・講師はできる限り地域の方に依頼し、技術を持つ当施設のスタッフによる事業も開催します。</li> <li>・区の施設、地域の団体とも連携して講座の企画を実施、新たな講師の登用につなげています。</li> <li>・自主事業の参加費は適正に算出し、参加しやすい料金設定にしています。特にワンパク事業での参加費は、子どもたちが参加しやすいように300円以下に設定しています。</li> <li>・ロビーコンサートを開催し、施設に足を運んでいただくことで、新しい利用者の開拓を図ります。</li> <li>・複合館としての利点を生かし、子どもから高齢者までの異世代交流を推進する事業を実施します。</li> <li>・市内高校生がボランティア活動として事業に参加し、地域連携や人材育成にも繋げていきます。</li> <li>・夏休みは空いている部屋を小中学生の自主学習の場として開放します。</li> <li>・講座の申込がホームページからインターネットでできるように準備を進めます。</li> </ul>			
--	--	--	--	--

	<p><b>（６）施設及び設備の維持管理計画</b></p> <p>地域の方に安全で快適な空間を提供し気持ちよく活動・交流できる施設、設備の維持管理を目指します。</p> <p>築４０年を過ぎ老朽化する設備の計画的な更新及び長寿命化が重要であると共に、省エネ化を推進して行くため、６つの基本方針を踏まえて、管理計画の内容を実施します。また、新たに雇用する設備専門スタッフが、安全性の確保と異常の早期発見に努めます。管理計画と相まって施設の長寿命化に寄与するとともに、優先的に行うべき修繕に対応します。また、簡易な修繕は外注することなく自前で実施し、コストダウンを徹底します。</p> <p>さらに、「安全」「安心」「快適」な空間への取組の実践と３４項目の独自設備点検を実施します。</p>			
職員育成	<p><b>事業計画書</b></p> <p><b>（３）イ 個人情報保護等の体制と職員研修計画</b></p> <p>個人情報保護法で定める「個人情報取扱事業者」として、適正な情報収集・目的外利用の禁止等同法に定める義務規定を遵守します。指定管理業務を担う者として、「横浜市個人情報の保護に関する条例」の関係規定を遵守するとともに、４つの規程と４つのルールに基づき、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益の侵害の防止に努めます。</p> <p>「個人情報保護研修」を実施し、遵守すべき法及び条例等の趣旨の周知を図っています。ヒヤリハット事例の共有、データの取得・保管・廃棄等について、定期的な点検や指導を行うことで、対策を推進しています。</p> <p><b>職員研修計画</b></p> <p>個人情報保護研修をはじめ、緊急時の即時対応や利用者の皆様に安全に、気持ちよく施設を利用していただくためには、施設の設置趣旨、実務の処理手順など、一定の知識と資質が求められます。そのために各種研修を計画的に実施し、職員の資質向上を図っています。</p>			

財務	事業計画書			
	(7) ア 収入計画の考え方			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稼働率の低い時間帯に自主事業を開催します。魅力ある事業を組み入れることで施設を利用していない多くの市民に利用のきっかけをつくり、今後の利用に繋がります。</li> <li>・登録団体への営業活動を行います。常にコミュニケーションをとることでニーズをとらえ、利用に繋がる提案、働きかけを行います。</li> <li>・予約システムの導入による利用申込みの改善を行いました。幅広い世代や地域の人に利用していただくことで、稼働率の向上に繋がります。</li> </ul>			
	(7) イ 増収策			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用の少ない祝日の午前の体育館の個人利用を、団体利用に変更することで利用料金収入の増収を図ります。 年間 15 日(元日を除く)×2,010 円(30,150 円の増収)</li> <li>・通信カラオケ室の有効活用のため、カラオケ以外の使用を可能にします。カラオケの使用不可など、感染症などの不可抗力の影響による利用の制限を最小限に留めるとともに、夜間の稼働率の引き上げを行い、増収を図ります。</li> <li>・他の諸室は自主事業での活用、利用促進営業活動を行い、増収を図ります。</li> <li>・稼働率の低い時間帯の広報に努め、部屋予約システムの利便性により新規開拓を行います。また、自主事業を開催し、新規だけではなく既存団体にも積極的な提案をし、増収を図ります。</li> <li>・当日に限り、空き部屋があれば希望に応じて 1 時間ごとの延長を可能にすることにより増収を図ります。 上記事業内容や実施方法を工夫することで、令和 3 年度見込の 6 % 増の 3,100,000 円を目標とします。</li> </ul>			
	(7) ウ 支出計画			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートやご意見箱等で得た地域のニーズに応えたサービスを心がけ、ニーズ対応費を積極的に活用して、利用者サービスの充実を図ります。</li> </ul>			

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して施設を利用できるよう感染症対策に努めます。</li> <li>・施設の老朽化が進む中、安全・安心に施設を利用できるように、計画的な修繕を行います。</li> <li>・複数の施設を運営している法人のスケールメリットを活かし、経理や庶務・労務事務、設備保全計画等の管理業務を一元管理することで事務的経費の削減を図ります。</li> <li>・経費の削減で施設の安全性の低下や利用者サービスの低下を招かないように、費目ごとに過去の実績等を踏まえ、実現性のある経費配分を行います。</li> </ul>			
	<p><b>（４）カ ニーズ対応費の使途（地区センターのみ）</b></p> <p>ニーズ対応費は、利用料金収入の一部を利用者に還元することを目的に、利用者の利便性向上を図るために執行しています。</p> <p>利用団体の活動の成果を発表する「センターまつり」や地域住民にすてきな音楽を楽しんでいただく「クリスマスコンサート」の開催経費、また、スポーツ用具やCDラジカセ等貸出物品の購入経費として執行します。</p>			
<p>その他 （上記４つの視点以外の項目があれば追記）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>目標設定の視点に基づく目標を記載</b></li> </ul> <p>新型コロナウイルス等感染症や災害時等に利用者、スタッフ、職員が安心かつ安全に過ごせるよう、次の対応を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス等感染症予防対策</li> <li>・ コロナ禍における自主事業開催の工夫</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症等の影響による利用料金収入減に対する対応策</li> <li>・ 感染防止の観点を踏まえた予約受付の提案</li> <li>・ 災害発生時の施設利用者への対応</li> </ul>			
<p>利用者等の意見</p>	<p><b>利用者等の意見の把握方法</b></p> <p><b>主な意見、要望</b></p>	<p><b>意見、要望に対する対応</b></p>		

《自己評価》

A：計画、目標を上回って実施

B：計画、目標を保持して実施

C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載